

**富谷市第2期障がい者計画・  
第7期障がい福祉計画・  
第3期障がい児福祉計画策定に向けた  
実態把握調査結果報告書**

**令和5年3月**

**富谷市**



## 目 次

---

<b>第1章 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象及び調査方法 .....	1
3. 調査票の回収状況 .....	2
4. 報告書の見方 .....	2
5. 調査結果のまとめ .....	3
<b>第2章 調査結果</b> .....	<b>6</b>
あて名ご本人のことについて .....	7
相談先や支援体制について .....	20
生活の状況について .....	23
仕事や日中の過ごし方について .....	27
障がい者交通対策について .....	43
福祉サービス等の利用について .....	45
権利擁護について .....	50
災害時の避難等について .....	55
暮らしやすくなるために .....	59



---

# 第1章 調査概要

---

## 1. 調査の目的

富谷市第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画を策定するにあたり、富谷市民の日常生活の状況や、課題・ニーズ等を把握し計画策定の基礎資料とするために本調査を実施しました。

## 2. 調査対象及び調査方法

### ①調査地域

- ・ 富谷市

### ②調査対象者

- ・ 市内在住の身体障害者手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する身体障害者手帳所持者（65歳未満の方全数）
- ・ 市内在住の療育手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する療育手帳所持者（全数。ただし、身体障害者手帳所持者は除く）
- ・ 市内在住の精神障害者保健福祉手帳所持者及び市外在住の居住地特例対象施設に入所する精神障害者保健福祉手帳所持者（全数。ただし、身体・療育障害者手帳所持者は除く）

### ③標本数

- ・ 身体障害者手帳所持者：366名
- ・ 療育手帳所持者：246名
- ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者：236名

### ④標本抽出方法

- ・ 抽出調査を実施

### ⑤調査期間

- ・ 令和4年12月2日から令和4年12月28日

### ⑥調査方法

- ・ 郵送配布、郵送回収

### ⑦調査実施機関

- ・ 富谷市 保健福祉部 地域福祉課

### 3. 調査票の回収状況

	身体障害者 手帳所持者	療育 手帳所持者	精神障害者保健福祉 手帳所持者	合計
対象者数	366	246	236	848
回収数	205	129	125	459
回収率	56.0%	52.4%	53.0%	54.1%

### 4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

## 5. 調査結果のまとめ

### ①あて名ご本人のことについて

- 調査票の記入者は、身体障がい者と精神障がい者では、「本人」が最も高くなっていますが、知的障がい者では「本人」は2割程度で「本人の家族」が5割台と最も高くなっています。
- 調査対象者の性別は、三障がいともに「男性」が「女性」を上回っており、年齢は身体障がい者では「50～59歳」、知的障がい者では「20～29歳」、精神障がい者では「40～49歳」が最も高くなっています。
- 調査対象者の同居家族は、身体障がい者では「配偶者（夫や妻、パートナー）」、知的障がい者と精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も高くなっています。
- 日常生活に必要な支援は、身体障がい者では「不要」が5～6割台と最も高くなっています。『必要』（「一部必要」と「全部必要」の合計）についてみると、知的障がい者では【⑧家族以外の人との意思疎通の援助】【⑨お金の管理の援助】【⑩薬の管理の援助】で5～6割台、精神障がい者では【⑦外出の介助】【⑧家族以外の人との意思疎通の援助】【⑨お金の管理の援助】【⑩薬の管理の援助】が2～3割台と他の項目に比べて高くなっています。
- 主に日常生活の支援をしてくれる人は、三障がいともに「父母・祖父母・兄弟姉妹」が最も高くなっています。
- 三障がいともに医療的ケアを受けていない割合が5～6割台と最も高くなっています。

### ②相談先や支援体制について

- 障がいや発達の不安や悩みの相談先は、身体障がい者、知的障がい者では「家族や親せき」、精神障がいでは「かかりつけの医師や看護師」が最も高くなっています。
- 将来のことで不安に思うことは、身体障がい者では「高齢になった時のことについて」、知的障がい者では「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」、精神障がい者では「高齢になった時のことについて」「支援者がいなくなった後の経済面について」がそれぞれ5割台と最も高くなっています。

### ③生活の状況について

- 今後3年以内にどのような暮らしをしたいかについては、三障がいともに「家族と一緒に生活したい」が7割台と最も高くなっています。
- 希望する暮らしを送るために必要だと思う支援については、三障がいともに「経済的な負担の軽減」が5～6割台と最も高く、次いで身体障がい者では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」、知的障がい者、精神障がい者では「相談対応等の充実」となっています。

#### ④仕事や日中の過ごし方について

- 仕事の状況については、三障がいともに「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」が最も高くなっています。
- 就労の形態については、身体障がい者では「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」、知的障がい者では「就労継続支援事業所（B型）で働いている」、精神障がい者では「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている」が最も高くなっています。
- 仕事上の悩みや困りごとについては、「特にない」を除くと三障がいともに「収入が少ない」が最も高くなっており、次いで、身体障がい者では「病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい」、知的障がい者では「職場までの通勤がたいへん」、精神障がい者では「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」となっています。
- 障がい者の就労支援として必要だと思う支援は、三障がいともに「職場の障がい者理解があること」が6割台と最も高く、次いで身体障がい者、精神障がい者では「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」、知的障がい者では「通勤手段の確保」となっています。
- 就労を支援する関係機関の認知度については、【公共職業安定所（ハローワーク）】、【富谷市役所】は、三障がいともに「知っている」が6～8割台で、「知らない」を大きく上回っています。一方で【障害者就業・生活支援センターわ〜く】、【富谷市自立相談支援センター】は、三障がいともに「知らない」が6割以上となっており、「知っている」を大きく上回っています。
- 就労を支援する関係機関の利用状況・利用意向については、三障がいともに【富谷市役所】は「利用中・利用したことがある」が3～4割台で、他の関係機関より高くなっています。

#### ⑤障がい者交通対策について

- 外出する際に利用する主な交通手段は、身体障がい者、精神障がい者では「自家用車（自分で運転する）」、知的障がい者では「家族による送迎」が最も高くなっています。
- タクシーチケットの利用申請の状況は、「申請対象外である」を除くと三障がいともに「制度を知らなかった」が最も高くなっています。

#### ⑥福祉サービス等の利用について

- 利用しているサービスについては、身体障がい者では「短期入所（ショートステイ）」、知的障がい者では「放課後等デイサービス」、精神障がい者では「就労継続支援（B型）」が最も高くなっています。
- 今後3年以内のサービス利用意向については、身体障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」が【放課後等デイサービス】、【生活介護】で他のサービスよりも高い割合になっています。知的障がい者では「現在と同じ程度に利用したい」が【放課後等デイサービス】、【就労継続支援（B型）】、【短期入所】で他のサービスよりも高い割合となっています。また、「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」は【放課後等デイサービス】で1割台となっています。精神障がい者ではいずれのサービスでも「現在と同じ程度に利用したい」の割合は1割未満となっていますが、【就労継続支援（B型）】で「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」が1割台となっています。

## ⑦権利擁護について

- 地域福祉権利擁護事業の認知度については、三障がいともに「知らない」が6～7割台と最も高くなっています。また、利用状況・利用意向については、「わからない」を除くと三障がいともに「今は必要ないが、将来利用してみたい」が最も高く、特に知的障がい者では3割台となっています。
- 成年後見制度の認知度については、三障がいともに「知らない」が3～4割台と最も高くなっています。また、利用状況・利用意向については、「わからない」を除くと「今は必要ないが、将来利用してみたい」が最も高く、特に知的障がい者では3割台となっています。
- 障がい児・障がい者の虐待通報・相談窓口の認知度については、三障がいともに「知らない」が4～5割台と最も高くなっています。
- 障がいを理由とするいやがらせの経験については、身体障がい者、精神障がい者では「ない」、知的障がい者では「少しある」が最も高くなっています。
- 差別や嫌な思いをした場面については、三障がいともに「学校・職場」が最も高く、次いで「外出中」となっています。
- ヘルプマークの利用状況については、三障がいともに「知っているが、利用はしていない」が4～5割台と最も高くなっています。
- 子どもの権利条約の認知度については、三障がいともに「知らない」が5～6割台と最も高くなっています。

## ⑧災害時の避難等について

- 災害時に一人で避難できるかについては、身体障がい者、精神障がい者では「できる」、知的障がい者では「できない」が最も高くなっています。
- 近所に助けてくれる人がいるかについては、三障がいともに「いない」が最も高くなっており、特に精神障がい者では5割台となっています。
- 災害時に困ることは、身体障がい者、精神障がい者では「投薬や治療が受けられない」、知的障がい者では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が最も高くなっています。また、避難所で生活できない理由は、身体障がい者では「トイレが使いにくいから」「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」、知的障がい者では「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」、精神障がい者では「間仕切りや個室の部屋がないから」が最も高くなっています。
- 災害に対する準備については、身体障がい者では「避難場所を知っている」、知的障がい者、精神障がい者では「特にしていない」が最も高くなっています。

## ⑨暮らしやすくなるためについて

- インクルーシブ遊具がある公園があった場合に行きたいかについては、「思う」が身体障がい者では2割台、知的障がい者では3割台、精神障がい者では1割台となっています。
- 暮らしやすくなるために行ってほしい取り組みについては、身体障がい者では「外出しやすい環境や交通機関の利便性の向上」、知的障がい者では「障がい者に対する理解促進」、精神障がい者では「年金などの経済的援助」が最も高くなっています。

## 第2章 調査結果

### 問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

- 調査票の記入者は、身体障がい者では「本人(この調査票が郵送されたあて名の方)」が64.4%と最も高く、次いで「本人の家族」が19.5%となっています。
- 知的障がい者では「本人の家族」が54.3%と最も高く、次いで「本人(この調査票が郵送されたあて名の方)」が20.9%となっています。
- 精神障がい者では「本人(この調査票が郵送されたあて名の方)」が73.6%と最も高く、次いで「本人の家族」が9.6%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	本人(この調査票が郵送されたあて名の方)	132	64.4	27	20.9	92	73.6
2	本人の家族	40	19.5	70	54.3	12	9.6
3	家族以外の介助者	1	0.5	12	9.3	0	0.0
	不明・無回答	32	15.6	20	15.5	21	16.8

0% 40% 80%      0% 40% 80%      0% 40% 80%

## あて名ご本人のことについて

### 問 2 あなたの性別、年齢についてお伺いします。(性別：○は1つだけ)(年齢：数字を記入)

○調査対象者の性別をみると、身体障がい者では「男性」が55.6%、「女性」が43.9%となっています。

○知的障がい者では「男性」が62.0%、「女性」が38.0%となっています。

○精神障がい者では「男性」が52.0%、「女性」が46.4%となっています。

○調査対象者の年齢をみると、身体障がい者では「50～59歳」が31.7%と最も高く、次いで「60～69歳」が26.3%となっています。

○知的障がい者では「20～29歳」が27.1%と最も高く、次いで「10～19歳」が26.4%となっています。

○精神障がい者では「40～49歳」が29.6%と最も高く、次いで「50～59歳」が22.4%となっています。

#### ■性別

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	男性	114	55.6	80	62.0	65	52.0
2	女性	90	43.9	49	38.0	58	46.4
	不明・無回答	1	0.5	0	0.0	2	1.6

0% 40% 80%      0% 40% 80%      0% 40% 80%

#### ■年齢（令和4年11月現在）

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	0～9歳	8	3.9	21	16.3	2	1.6
2	10～19歳	15	7.3	34	26.4	6	4.8
3	20～29歳	8	3.9	35	27.1	14	11.2
4	30～39歳	14	6.8	21	16.3	27	21.6
5	40～49歳	35	17.1	14	10.9	37	29.6
6	50～59歳	65	31.7	4	3.1	28	22.4
7	60～69歳	54	26.3	0	0.0	6	4.8
8	70～79歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9	80歳以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	6	2.9	0	0.0	5	4.0

0% 20% 40%      0% 20% 40%      0% 20% 40%

### 問 3 現在のお住まいはどの地区ですか。(○は1つだけ)

○調査対象者の住まいの地区をみると、身体障がい者では「東向陽台・明石台地区」が 24.4%と最も高く、次いで「富谷・ひより台・太子堂地区」が 17.1%となっています。

○知的障がい者では「東向陽台・明石台地区」が 20.2%と最も高く、次いで「富谷・ひより台・太子堂地区」が 19.4%となっています。

○精神障がい者では「富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木地区」が 24.0%と最も高く、次いで「富谷・ひより台・太子堂地区」が 23.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	富谷・ひより台・太子堂地区	35	17.1	25	19.4	29	23.2
2	富ヶ丘・鷹乃杜・上桜木地区	31	15.1	12	9.3	30	24.0
3	熊谷・とちの木・あけの平・大清水地区	28	13.7	20	15.5	19	15.2
4	日吉台・杜乃橋地区	24	11.7	21	16.3	13	10.4
5	成田地区	30	14.6	13	10.1	7	5.6
6	東向陽台・明石台地区	50	24.4	26	20.2	21	16.8
7	市外	3	1.5	9	7.0	1	0.8
	不明・無回答	4	2.0	3	2.3	5	4.0

**問 4 あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)**

○調査対象者の同居家族については、身体障がい者では「配偶者(夫や妻、パートナー)」が55.6%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟姉妹」が36.1%となっています。

○知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が82.2%と最も高く、次いで「グループホームや福祉施設等で暮らしている」が10.9%となっています。

○精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が67.2%と最も高く、次いで「配偶者(夫や妻、パートナー)」が22.4%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父母・祖父母・兄弟姉妹	74	36.1	106	82.2	84	67.2
2	配偶者(夫や妻、パートナー)	114	55.6	5	3.9	28	22.4
3	子ども	64	31.2	2	1.6	20	16.0
4	グループホームや福祉施設等で暮らしている	8	3.9	14	10.9	3	2.4
5	いない(一人で暮らしている)	12	5.9	2	1.6	4	3.2
6	その他	6	2.9	1	0.8	5	4.0
	不明・無回答	3	1.5	3	2.3	3	2.4

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

問 5 日常生活の中で、次の支援が必要ですか。①から⑩のそれぞれにお答えください。

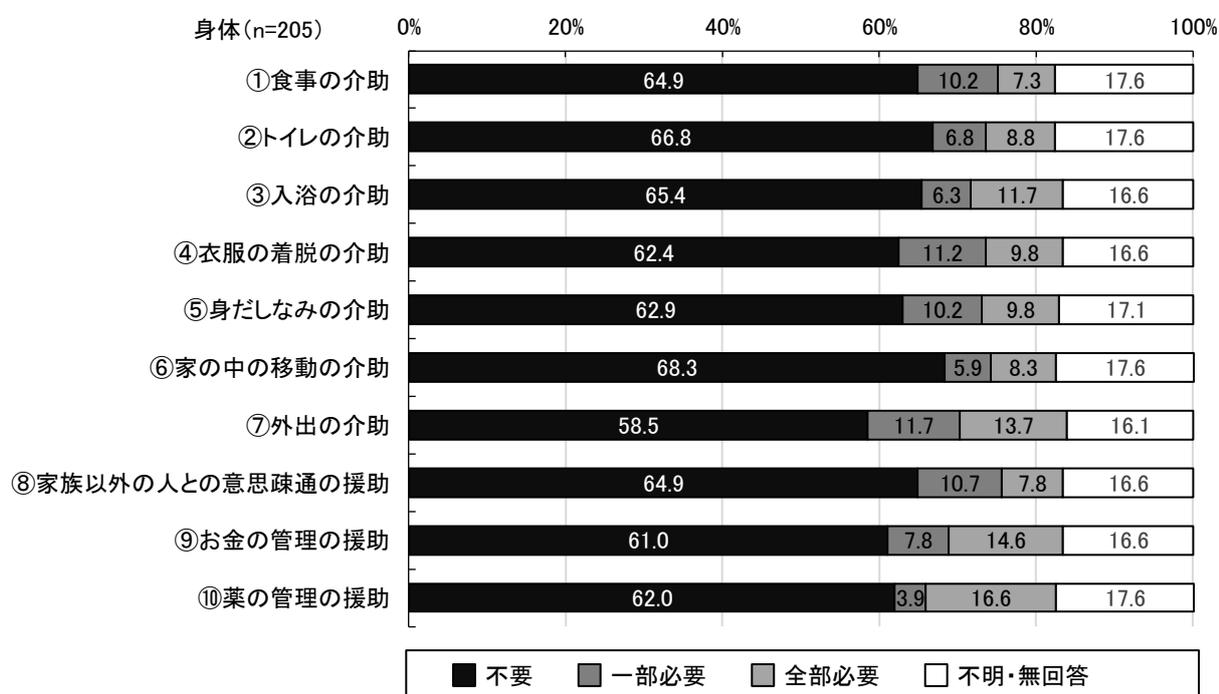
(①～⑩それぞれに○を1つ)

○日常生活の中の必要な支援をみると、身体障がい者ではいずれの支援内容でも「不要」が5～6割台、『必要』（「一部必要」と「全部必要」の合計）が1～2割台となっています。

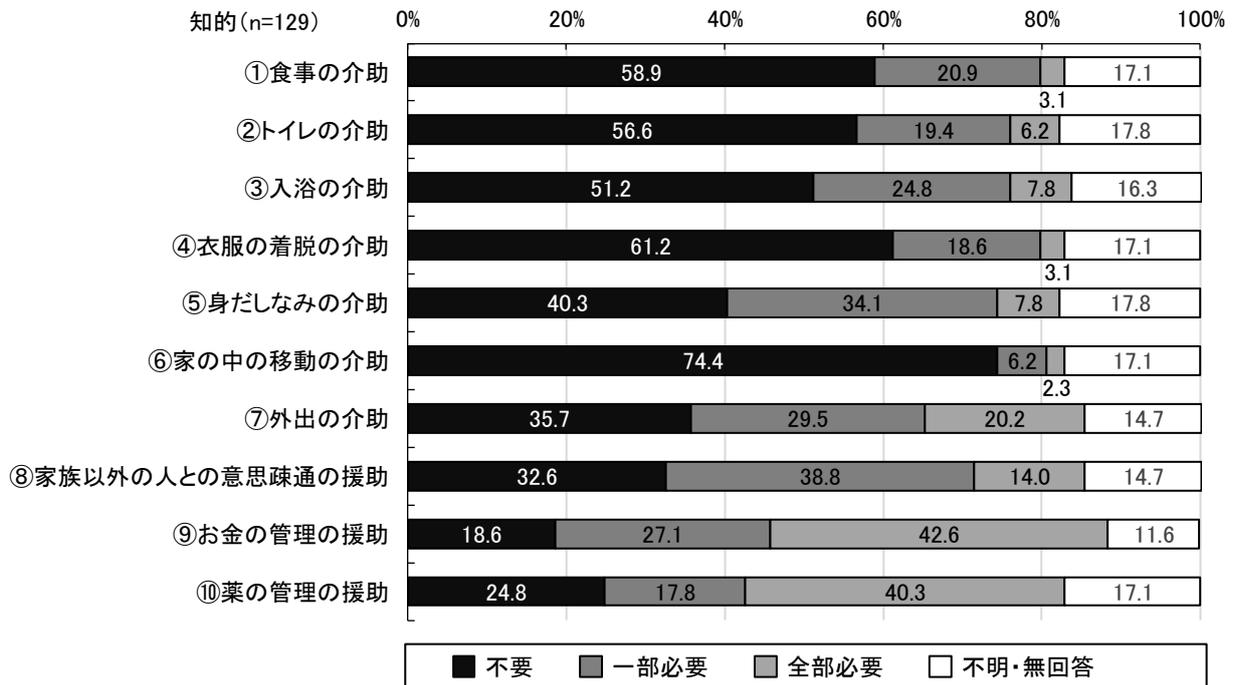
○知的障がい者では【⑥家の中の移動の介助】で「不要」が74.4%、【⑧家族以外の人との意思疎通の援助】【⑨お金の管理の援助】【⑩薬の管理の援助】で『必要』が5割以上となっています。

○精神障がい者では【⑨お金の管理の援助】で「不要」が48.0%、その他の支援内容は5～7割台、【⑦外出の介助】【⑧家族以外の人との意思疎通の援助】【⑨お金の管理の援助】【⑩薬の管理の援助】で『必要』が2～3割台となっています。

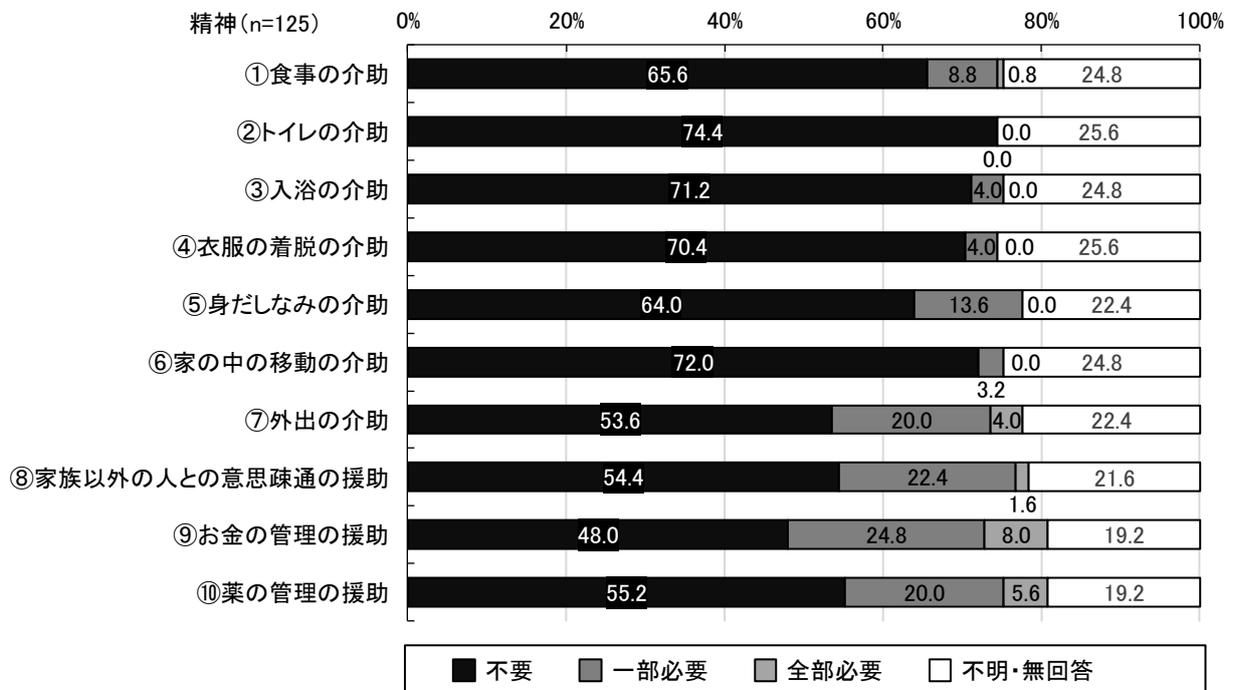
■身体



## ■知的



## ■精神



問5①～⑩のいずれかで「一部必要」または「全部必要」を選択した方にお伺いします。

問6 あなたを支援してくれる方は主にどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

○あなたを支援してくれる方について身体障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が50.7%と最も高く、次いで「配偶者（夫や妻、パートナー）」が32.4%となっています。

○知的障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が82.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が24.7%となっています。

○精神障がい者では「父母・祖父母・兄弟姉妹」が61.5%と最も高く、次いで「配偶者（夫や妻、パートナー）」が26.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=71)		知的障がい者 (n=93)		精神障がい者 (n=65)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	父母・祖父母・兄弟姉妹	36	50.7	77	82.8	40	61.5
2	配偶者（夫や妻、パートナー）	23	32.4	0	0.0	17	26.2
3	子ども	6	8.5	0	0.0	2	3.1
4	ホームヘルパーや施設の職員	13	18.3	23	24.7	3	4.6
5	その他の人	3	4.2	0	0.0	2	3.1
	不明・無回答	4	5.6	2	2.2	4	6.2

問6で「1」、「2」、「3」を選択した方にお伺いします。

問7 あなたを支援してくれる家族で、主な方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

○調査対象を支援してくれる家族で、主な方の年齢をみると、身体障がい者では「50～59歳」が34.5%と最も高く、次いで「60～69歳」が19.0%となっています。

○知的障がい者では「40～49歳」が32.5%と最も高く、次いで「50～59歳」が29.9%となっています。

○精神障がい者では「40～49歳」が25.0%と最も高く、次いで「70～79歳」が21.4%となっています。

○支援してくれる家族で、主な方の性別をみると、身体障がい者では「女性」が69.0%、「男性」が25.9%となっています。

○知的障がい者では「女性」が90.9%、「男性」が9.1%となっています。

○精神障がい者では「女性」が66.1%、「男性」が33.9%となっています。

○支援してくれる家族で、主な方の健康状態については、身体障がい者では「ふつう」が56.9%と最も高く、次いで「よい」が32.8%となっています。

○知的障がい者では「ふつう」が58.4%と最も高く、次いで「よい」が37.7%となっています。

○精神障がい者では「ふつう」が55.4%と最も高く、次いで「よい」が33.9%となっています。

■年齢（令和4年11月現在）

no	項目	身体障がい者 (n=58)		知的障がい者 (n=77)		精神障がい者 (n=56)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	0～9歳	0	0.0	1	1.3	0	0.0
2	10～19歳	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	20～29歳	2	3.4	2	2.6	1	1.8
4	30～39歳	6	10.3	7	9.1	3	5.4
5	40～49歳	10	17.2	25	32.5	14	25.0
6	50～59歳	20	34.5	23	29.9	11	19.6
7	60～69歳	11	19.0	13	16.9	10	17.9
8	70～79歳	5	8.6	5	6.5	12	21.4
9	80歳以上	2	3.4	0	0.0	4	7.1
	不明・無回答	2	3.4	1	1.3	1	1.8

■性別（○は1つだけ）

no	項目	身体障がい者 (n=58)		知的障がい者 (n=77)		精神障がい者 (n=56)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	男性	15	25.9	7	9.1	19	33.9
2	女性	40	69.0	70	90.9	37	66.1
	不明・無回答	3	5.2	0	0.0	0	0.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

■健康状態（○は1つだけ）

no	項目	身体障がい者 (n=58)		知的障がい者 (n=77)		精神障がい者 (n=56)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	よい	19	32.8	29	37.7	19	33.9
2	ふつう	33	56.9	45	58.4	31	55.4
3	よくない	5	8.6	2	2.6	6	10.7
	不明・無回答	1	1.7	1	1.3	0	0.0

0% 40% 80%      0% 40% 80%      0% 40% 80%

**問 8 お持ちの手帳などの種類と等級をお答えください。**

- 調査対象の身体障がい者が所持する身体障害者手帳の等級をみると、身体障がい者では「1級」が37.6%と最も高く、次いで「4級」が17.6%となっています。
- 知的障がい者では「2級」が1.6%と最も高く、次いで「1級」が0.8%となっています。
- 精神障がい者では「2級」が4.0%と最も高く、次いで「3級」が2.4%となっています。
- 調査対象の身体障がい者の障がいの種類をみると、身体障がい者では「下肢機能障害」が36.6%と最も高く、次いで「上肢機能障害」が21.5%となっています。
- 精神障がい者では「音声・言語・そしゃく機能障害」が0.8%と最も高くなっています。
- 調査対象の知的障がい者が所持する療育手帳の等級については、身体障がい者では「A」が7.8%、「B」が4.4%となっています。
- 知的障がい者では「B」が68.2%、「A」が31.0%となっています。
- 調査対象の精神障がい者が所持する精神障害者保健福祉手帳の等級をみると、身体障がい者では「3級」が1.5%と最も高く、次いで「2級」が0.5%となっています。
- 知的障がい者では「2級」が2.3%と最も高く、次いで「3級」が0.8%となっています。
- 精神障がい者では「2級」が52.0%と最も高く、次いで「3級」が40.0%となっています。

**■身体障害者手帳の等級（○は1つだけ）**

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1級	77	37.6	1	0.8	0	0.0
2	2級	29	14.1	2	1.6	5	4.0
3	3級	27	13.2	0	0.0	3	2.4
4	4級	36	17.6	0	0.0	0	0.0
5	5級	17	8.3	0	0.0	0	0.0
6	6級	10	4.9	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	9	4.4	126	97.7	117	93.6

■身体障がい者の障がいの種類（あてはまるものすべてに○）

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	視覚障害	11	5.4	0	0.0	0	0.0
2	聴覚障害	24	11.7	0	0.0	0	0.0
3	平衡機能障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	音声・言語・そしゃく機能障害	7	3.4	0	0.0	1	0.8
5	上肢機能障害	44	21.5	0	0.0	0	0.0
6	下肢機能障害	75	36.6	0	0.0	0	0.0
7	体幹機能障害	7	3.4	0	0.0	0	0.0
8	心臓機能障害	25	12.2	0	0.0	0	0.0
9	じん臓機能障害	18	8.8	0	0.0	0	0.0
10	呼吸器機能障害	7	3.4	0	0.0	0	0.0
11	ぼうこう・直腸機能障害	11	5.4	0	0.0	0	0.0
12	小腸機能障害	1	0.5	0	0.0	0	0.0
13	免疫機能障害	0	0.0	0	0.0	0	0.0
14	肝臓機能障害	3	1.5	0	0.0	0	0.0
15	その他	8	3.9	2	1.6	4	3.2
	不明・無回答	22	10.7	127	98.4	120	96.0

■療育手帳の等級（○は1つだけ）

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	A	16	7.8	40	31.0	0	0.0
2	B	9	4.4	88	68.2	0	0.0
	不明・無回答	180	87.8	1	0.8	125	100.0

■精神障害者保健福祉手帳の等級（○は1つだけ）

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1級	0	0.0	0	0.0	6	4.8
2	2級	1	0.5	3	2.3	65	52.0
3	3級	3	1.5	1	0.8	50	40.0
	不明・無回答	201	98.0	125	96.9	4	3.2

問9 あなたは難病（指定難病）の認定を受けていますか。（○は1つだけ）

○調査対象者の難病（指定難病）の認定の状況を見ると、身体障がい者では「受けていない」が80.5%、「受けている」が14.6%となっています。

○知的障がい者では「受けていない」が91.5%、「受けている」が3.9%となっています。

○精神障がい者では「受けていない」が95.2%、「受けている」が1.6%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	受けている	30	14.6	5	3.9	2	1.6
2	受けていない	165	80.5	118	91.5	119	95.2
	不明・無回答	10	4.9	6	4.7	4	3.2

問10 あなたは発達障害として医師に診断されたことはありますか。（○は1つだけ）

○調査対象者が発達障害として医師に診断されたことがあるかをみると、身体障がい者では「ない」が90.7%、「ある」が4.4%となっています。

○知的障がい者では「ある」が53.5%、「ない」が43.4%となっています。

○精神障がい者では「ない」が76.0%、「ある」が19.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	ある	9	4.4	69	53.5	24	19.2
2	ない	186	90.7	56	43.4	95	76.0
	不明・無回答	10	4.9	4	3.1	6	4.8

**問 11 あなたは高次脳機能障害として医師に診断されたことはありますか。(○は1つだけ)**

○調査対象者が高次脳機能障害として医師に診断されたことがあるかをみると、身体障がい者では「ない」が86.8%、「ある」が9.8%となっています。

○知的障がい者では「ない」が95.3%、「ある」が1.6%となっています。

○精神障がい者では「ない」が95.2%、「ある」が0.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	ある	20	9.8	2	1.6	1	0.8
2	ない	178	86.8	123	95.3	119	95.2
	不明・無回答	7	3.4	4	3.1	5	4.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

**問 11 で「1」を選択した方にお伺いします。**

**問 12 以下の障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)**

○調査対象者の障がいの状況をみると、身体障がい者では「肢体不自由（下肢）」が70.0%と最も高く、次いで「肢体不自由（上肢）」が60.0%となっています。

○精神障がい者では「聴覚障害」が100.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=20)		知的障がい者 (n=2)		精神障がい者 (n=1)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	視覚障害	4	20.0	0	0.0	0	0.0
2	聴覚障害	3	15.0	0	0.0	1	100.0
3	音声・言語・そしゃく機能障害	7	35.0	0	0.0	0	0.0
4	肢体不自由（上肢）	12	60.0	0	0.0	0	0.0
5	肢体不自由（下肢）	14	70.0	0	0.0	0	0.0
6	肢体不自由（体幹）	5	25.0	0	0.0	0	0.0
7	内部障害（1～6以外）	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8	その他	1	5.0	1	50.0	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0	1	50.0	0	0.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

**問 13 あなたは現在以下のような医療的ケアを受けていますか。(あてはまるものすべてに○)**

○医療的ケアを受けているかをみると、身体障がい者では「上記のような医療的ケアは受けていない」が52.7%と最も高く、次いで「服薬管理」が19.0%となっています。

○知的障がい者では「上記のような医療的ケアは受けていない」が69.0%と最も高く、次いで「服薬管理」が17.1%となっています。

○精神障がい者では「上記のような医療的ケアは受けていない」が68.0%と最も高く、次いで「服薬管理」が21.6%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	気管切開	4	2.0	0	0.0	0	0.0
2	人工呼吸器(レスピレーター)	1	0.5	1	0.8	0	0.0
3	吸入	5	2.4	0	0.0	0	0.0
4	吸引	10	4.9	0	0.0	0	0.0
5	胃ろう・腸ろう	7	3.4	1	0.8	0	0.0
6	鼻腔経管栄養	3	1.5	0	0.0	0	0.0
7	中心静脈栄養(IVH)	1	0.5	0	0.0	0	0.0
8	透析	13	6.3	0	0.0	0	0.0
9	カテーテル留置	10	4.9	0	0.0	0	0.0
10	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	10	4.9	0	0.0	0	0.0
11	服薬管理	39	19.0	22	17.1	27	21.6
12	その他	17	8.3	0	0.0	2	1.6
13	上記のような医療的ケアは受けていない	108	52.7	89	69.0	85	68.0
	不明・無回答	18	8.8	16	12.4	12	9.6

## 相談先や支援体制について

問 14 あなたは、障がいや発達の不安や悩みをどなたに相談しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 
- 障がいや発達の不安や悩みの相談先をみると、身体障がい者では「家族や親せき」が 68.8%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 63.9%となっています。
  - 知的障がい者では「家族や親せき」が 74.4%と最も高く、次いで「かかりつけの医師や看護師」が 45.0%となっています。
  - 精神障がい者では「かかりつけの医師や看護師」が 84.8%と最も高く、次いで「家族や親せき」が 74.4%となっています。
-

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	家族や親せき	141	68.8	96	74.4	93	74.4
2	友人・知人	49	23.9	18	14.0	25	20.0
3	近所の人	7	3.4	0	0.0	3	2.4
4	職場の上司や同僚	15	7.3	12	9.3	10	8.0
5	かかりつけの医師や看護師	131	63.9	58	45.0	106	84.8
6	病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	14	6.8	5	3.9	9	7.2
7	通所施設や保育所(園)、幼稚園、学校の先生	18	8.8	45	34.9	7	5.6
8	障がい者団体や家族会	8	3.9	12	9.3	0	0.0
9	サービス提供事業所	20	9.8	37	28.7	13	10.4
10	相談支援事業所などの民間の相談窓口	7	3.4	28	21.7	7	5.6
11	地域活動支援センター	7	3.4	9	7.0	6	4.8
12	地域支援センター「ぱれつとよしおか」	4	2.0	8	6.2	2	1.6
13	宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」	0	0.0	1	0.8	0	0.0
14	とみや子育て支援センター「とみここ」	3	1.5	11	8.5	0	0.0
15	教育委員会	0	0.0	1	0.8	1	0.8
16	民生委員・児童委員	3	1.5	1	0.8	1	0.8
17	市役所	13	6.3	15	11.6	20	16.0
18	保健所	0	0.0	1	0.8	2	1.6
19	宮城県精神保健福祉センター	0	0.0	0	0.0	2	1.6
20	宮城県リハビリテーション支援センター	6	2.9	2	1.6	0	0.0
21	障がい者等相談支援窓口	6	2.9	10	7.8	4	3.2
22	児童相談所	0	0.0	4	3.1	1	0.8
23	いのちの電話	0	0.0	0	0.0	6	4.8
24	障がい者110番	0	0.0	0	0.0	0	0.0
25	特にいない	25	12.2	9	7.0	16	12.8
26	人には相談したくない	2	1.0	1	0.8	4	3.2
27	その他	7	3.4	3	2.3	5	4.0
	不明・無回答	9	4.4	6	4.7	0	0.0

**問 15 将来のことで不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)**

○将来のことで不安に思うことをみると、身体障がい者では「高齢になった時のことについて」が57.1%と最も高く、次いで「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」が27.8%となっています。

○知的障がい者では「支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について」が57.4%と最も高く、次いで「お金や財産の管理ができるか」「支援者がいなくなった後の経済面について」がともに51.2%となっています。

○精神障がい者では「高齢になった時のことについて」「支援者がいなくなった後の経済面について」が53.6%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	進学のことについて	12	5.9	22	17.1	7	5.6
2	就職のことについて	28	13.7	47	36.4	47	37.6
3	高齢になった時のことについて	117	57.1	60	46.5	67	53.6
4	友人や仲間、理解者がいるか	12	5.9	28	21.7	37	29.6
5	自立した生活ができるか	38	18.5	63	48.8	65	52.0
6	お金や財産の管理ができるか	25	12.2	66	51.2	58	46.4
7	支援者がいなくなった後の住まいについて	27	13.2	58	45.0	48	38.4
8	支援者がいなくなった後の経済面について	42	20.5	66	51.2	67	53.6
9	支援者がいなくなった後の生活（家事・移動等）について	57	27.8	74	57.4	56	44.8
10	その他	13	6.3	0	0.0	16	12.8
	不明・無回答	32	15.6	15	11.6	8	6.4

## 生活の状況について

### 問 16 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

○調査対象者は現在どのように暮らしているかをみると、身体障がい者では「家族と暮らしている」が87.8%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が5.9%となっています。

○知的障がい者では「家族と暮らしている」が83.7%と最も高く、次いで「福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている」が7.0%となっています。

○精神障がい者では「家族と暮らしている」が92.0%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が3.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	一人で暮らしている	12	5.9	1	0.8	4	3.2
2	家族と暮らしている	180	87.8	108	83.7	115	92.0
3	グループホームで暮らしている	2	1.0	5	3.9	3	2.4
4	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている	6	2.9	9	7.0	1	0.8
5	病院に入院している	4	2.0	0	0.0	1	0.8
6	その他	0	0.0	2	1.6	1	0.8
	不明・無回答	1	0.5	4	3.1	0	0.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

**問 17 あなたは今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思いますか。(○は1つだけ)**

○調査対象者は今後3年以内にどのような暮らしをしたいと思うかをみると、身体障がい者では「家族と一緒に生活をしたい」が74.1%と最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が11.7%となっています。

○知的障がい者では「家族と一緒に生活をしたい」が72.9%と最も高く、次いで「グループホームなどを利用したい」が7.0%となっています。

○精神障がい者では「家族と一緒に生活をしたい」が76.0%と最も高く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が12.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	一般の住宅で一人暮らしをしたい	24	11.7	8	6.2	16	12.8
2	家族と一緒に生活をしたい	152	74.1	94	72.9	95	76.0
3	グループホームなどを利用したい	4	2.0	9	7.0	4	3.2
4	福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしたい	9	4.4	7	5.4	1	0.8
5	その他	7	3.4	7	5.4	6	4.8
	不明・無回答	9	4.4	4	3.1	3	2.4

問 17 で「3」または「4」を選択した方にお伺いします。

問 18 具体的にどこに住みたいですか。希望場所があれば、ご記入ください。(○は1つだけ)

○具体的にどこに住みたいかをみると、身体障がい者では「富谷市内」が 69.2%、「富谷市外」が 7.7%となっています。

○知的障がい者では「富谷市内」が 43.8%、「富谷市外」が 25.0%となっています。

○精神障がい者では「富谷市内」が 40.0%、「富谷市外」が 20.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=13)		知的障がい者 (n=16)		精神障がい者 (n=5)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	富谷市内	9	69.2	7	43.8	2	40.0
2	富谷市外	1	7.7	4	25.0	1	20.0
3	その他	1	7.7	4	25.0	1	20.0
	不明・無回答	2	15.4	1	6.3	1	20.0

問 17 で「3」または「4」を選択した方にお伺いします。

問 19 いつ頃入所(入居)したいですか。(○は1つだけ)

○いつ頃入所(入居)したいかをみると、身体障がい者では「1年以内」が 38.5%と最も高く、次いで「3年以内」が 15.4%となっています。

○知的障がい者では「2年以内」が 18.8%と最も高く、次いで「1年以内」「3年以内」がともに 12.5%となっています。

○精神障がい者では「1年以内」「3年以内」が 40.0%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=13)		知的障がい者 (n=16)		精神障がい者 (n=5)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	1年以内	5	38.5	2	12.5	2	40.0
2	2年以内	1	7.7	3	18.8	0	0.0
3	3年以内	2	15.4	2	12.5	2	40.0
	不明・無回答	5	38.5	9	56.3	1	20.0

**問 20 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)**

○希望する暮らしを送るために必要だと思う支援をみると、身体障がい者では「経済的な負担の軽減」が58.0%と最も高く、次いで「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が28.8%となっています。

○知的障がい者では「経済的な負担の軽減」が55.0%と最も高く、次いで「相談対応等の充実」が42.6%となっています。

○精神障がい者では「経済的な負担の軽減」が64.0%と最も高く、次いで「相談対応等の充実」が40.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	在宅で医療的ケアなどが適切に受けられること	38	18.5	9	7.0	15	12.0
2	障がい者に適した住居の確保	42	20.5	29	22.5	25	20.0
3	必要な在宅サービスが適切に利用できること	59	28.8	30	23.3	26	20.8
4	生活訓練等の充実	14	6.8	37	28.7	13	10.4
5	経済的な負担の軽減	119	58.0	71	55.0	80	64.0
6	相談対応等の充実	37	18.0	55	42.6	50	40.0
7	地域住民等の理解	27	13.2	38	29.5	26	20.8
8	コミュニケーションについての支援	22	10.7	44	34.1	32	25.6
9	その他	11	5.4	8	6.2	14	11.2
	不明・無回答	29	14.1	15	11.6	19	15.2

## 仕事や日中の過ごし方について

### 問 21 仕事の状況についてお伺いします。(○は1つだけ)

- 調査対象者の仕事の状況をみると、身体障がい者では「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」が51.7%と最も高く、次いで「現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない」が14.6%となっています。
- 知的障がい者では「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」が38.0%と最も高く、次いで「現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない」が32.6%となっています。
- 精神障がい者では「現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）」が36.0%と最も高く、次いで「現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている」が20.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	現在、仕事をしている（就労定着支援事業、就労継続支援事業所（A型・B型）を含む）	106	51.7	49	38.0	45	36.0
2	現在、仕事をしていないが、今後は仕事をしたいと思っている	16	7.8	6	4.7	25	20.0
3	現在、仕事をしておらず、今後も仕事の予定はない	30	14.6	4	3.1	9	7.2
4	現在、仕事をしておらず、今は仕事について考えられない	9	4.4	2	1.6	23	18.4
5	現在、仕事をしておらず、仕事をするのを考えたことがない	12	5.9	6	4.7	5	4.0
6	現在、就学しているため、仕事の見通しはまだない	17	8.3	42	32.6	6	4.8
7	その他	5	2.4	12	9.3	5	4.0
	不明・無回答	10	4.9	8	6.2	7	5.6

問 21 で「1」を選択した方にお伺いします。

問 22 どのような形で就労していますか。(○は1つだけ)

○調査対象者の就労形態をみると、身体障がい者では「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」が 48.1%と最も高く、次いで「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている」が 26.4%となっています。

○知的障がい者では「就労継続支援事業所（B型）で働いている」が 44.9%と最も高く、次いで「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている」が 30.6%となっています。

○精神障がい者では「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている」が 37.8%と最も高く、次いで「会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない」「就労継続支援事業所（B型）で働いている」がともに 20.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=106)		知的障がい者 (n=49)		精神障がい者 (n=45)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	会社などで正職員として働いており、他職員と勤務条件等に違いはない	51	48.1	3	6.1	9	20.0
2	会社などで正職員として働いており、短時間勤務などの障がい者配慮がある	8	7.5	2	4.1	3	6.7
3	会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働いている	28	26.4	15	30.6	17	37.8
4	自営業を営んでいる（自営の手伝いも含む）	8	7.5	0	0.0	1	2.2
5	就労継続支援事業所（A型）で働いている	1	0.9	5	10.2	4	8.9
6	就労継続支援事業所（B型）で働いている	7	6.6	22	44.9	9	20.0
7	その他	3	2.8	1	2.0	2	4.4
	不明・無回答	0	0.0	1	2.0	0	0.0

問 21 で「1」を選択した方にお伺いします。

問 23 仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

○調査対象者の仕事のことで悩んでいることや困っていることをみると、身体障がい者では「特にない」が36.8%と最も高く、次いで「収入が少ない」が24.5%となっています。

○知的障がい者では「収入が少ない」が40.8%と最も高く、次いで「職場までの通勤がたいへん」「特にない」がともに22.4%となっています。

○精神障がい者では「収入が少ない」が66.7%と最も高く、次いで「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」が28.9%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=106)		知的障がい者 (n=49)		精神障がい者 (n=45)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	収入が少ない	26	24.5	20	40.8	30	66.7
2	職場までの通勤がたいへん	11	10.4	11	22.4	3	6.7
3	病気・障がいへの理解が得にくく、人間関係が難しい	15	14.2	6	12.2	6	13.3
4	職場でのコミュニケーションがうまくとれない	6	5.7	8	16.3	13	28.9
5	仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん	5	4.7	4	8.2	8	17.8
6	通院や病気・障がいを理由に休みを取ることが難しい	8	7.5	1	2.0	6	13.3
7	病気・障がいがない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある	6	5.7	1	2.0	8	17.8
8	特にない	39	36.8	11	22.4	5	11.1
9	その他	8	7.5	2	4.1	5	11.1
	不明・無回答	15	14.2	8	16.3	3	6.7

問 21 で「2」を選択した方にお伺いします。

問 24 今後、どのような就労を希望しますか。(○は1つだけ)

○今後、どのような就労を希望するかをみると、身体障がい者では「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」が37.5%と最も高く、次いで「会社などで正職員として、短時間勤務などの障がい者配慮を受けて働きたい」「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働きたい」がともに25.0%となっています。

○知的障がい者では「会社などで正職員として、短時間勤務などの障がい者配慮を受けて働きたい」「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」がともに16.7%となっています。

○精神障がい者では「会社などで正職員として、短時間勤務などの障がい者配慮を受けて働きたい」が36.0%と最も高く、次いで「会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働きたい」が20.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=16)		知的障がい者 (n=6)		精神障がい者 (n=25)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	会社などで正職員として働きたい	1	6.3	0	0.0	3	12.0
2	会社などで正職員として、短時間勤務などの障がい者配慮を受けて働きたい	4	25.0	1	16.7	9	36.0
3	会社などでパート、アルバイト、非常勤職員、派遣社員として働きたい	4	25.0	0	0.0	5	20.0
4	自営業を営みたい	0	0.0	0	0.0	2	8.0
5	就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい	6	37.5	1	16.7	3	12.0
6	その他	0	0.0	3	50.0	2	8.0
	不明・無回答	1	6.3	1	16.7	1	4.0

問 21 で「3」・「4」・「5」を選択した方にお伺いします。

問 25 就労を希望しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○調査対象者が就労を希望しない理由をみると、身体障がい者では「障がい・病気の症状のため」が52.9%と最も高く、次いで「家事に専念しているため」が23.5%となっています。

○知的障がい者では「障がい・病気の症状のため」が91.7%と最も高く、次いで「働くための技術や知識がないため」が33.3%となっています。

○精神障がい者では「障がい・病気の症状のため」が81.1%と最も高く、次いで「働く意欲がないため」が37.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=51)		知的障がい者 (n=12)		精神障がい者 (n=37)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	障がいを理由に採用を断られたことがあり、諦めているため	1	2.0	0	0.0	3	8.1
2	障がい・病気の症状のため	27	52.9	11	91.7	30	81.1
3	高齢のため	9	17.6	0	0.0	2	5.4
4	定期収入(障害年金・不動産収入等)・預貯金があるため	3	5.9	0	0.0	3	8.1
5	家事に専念しているため	12	23.5	0	0.0	5	13.5
6	働くための技術や知識がないため	3	5.9	4	33.3	12	32.4
7	就職の仕方がわからないため	0	0.0	0	0.0	2	5.4
8	働く意欲がないため	3	5.9	1	8.3	14	37.8
9	その他	11	21.6	1	8.3	4	10.8
	不明・無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

問 21 で「6」を選択した方にお伺いします。

問 26 将来、高等学校などを卒業した後の進路について、希望するものはどれですか。

(○は1つだけ)

○調査対象者が将来、高等学校などを卒業した後の希望する進路をみると、身体障がい者では「大学や専門学校へ進学したい」が47.1%と最も高く、次いで「迷っている・わからない」が35.3%となっています。

○知的障がい者では「迷っている・わからない」が42.9%と最も高く、次いで「就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい」が26.2%となっています。

○精神障がい者では「大学や専門学校へ進学したい」「会社などで正職員として働きたい」が33.3%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=17)		知的障がい者 (n=42)		精神障がい者 (n=6)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	大学や専門学校へ進学したい	8	47.1	4	9.5	2	33.3
2	会社などで正職員として働きたい	0	0.0	6	14.3	2	33.3
3	会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	自営業を営みたい	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	就労継続支援事業所（A型・B型）で働きたい	2	11.8	11	26.2	0	0.0
6	その他	0	0.0	1	2.4	0	0.0
7	迷っている・わからない	6	35.3	18	42.9	1	16.7
	不明・無回答	1	5.9	2	4.8	1	16.7

**問 27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

○障がい者の就労支援として必要だと思う支援をみると、身体障がい者では「職場の障がい者理解があること」が61.0%と最も高く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が43.9%となっています。

○知的障がい者では「職場の障がい者理解があること」が66.7%と最も高く、次いで「通勤手段の確保」が55.8%となっています。

○精神障がい者では「職場の障がい者理解があること」が63.2%と最も高く、次いで「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」が61.6%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	通勤手段の確保	87	42.4	72	55.8	52	41.6
2	勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	75	36.6	13	10.1	20	16.0
3	短時間勤務や勤務日数等の配慮	84	41.0	41	31.8	74	59.2
4	勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	90	43.9	35	27.1	77	61.6
5	在宅勤務の拡充	70	34.1	13	10.1	47	37.6
6	職場の障がい者理解があること	125	61.0	86	66.7	79	63.2
7	職場で介助や援助等が受けられること	47	22.9	49	38.0	25	20.0
8	具合が悪くなった時に気軽に通院できること	79	38.5	40	31.0	58	46.4
9	就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	44	21.5	62	48.1	44	35.2
10	企業ニーズに合った就労訓練	31	15.1	24	18.6	22	17.6
11	仕事についての職場外での相談対応、支援	41	20.0	43	33.3	50	40.0
12	その他	7	3.4	4	3.1	14	11.2
	不明・無回答	24	11.7	11	8.5	7	5.6

**問 28 以下の就労を支援する関係機関を知っていますか。また利用してみたいと思いますか。  
(あてはまるものにそれぞれ1つずつ○)**

○就労を支援する関係機関を知っているかについてみると、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者のいずれにおいても【公共職業安定所（ハローワーク）】【富谷市役所】で「知っている」が「知らない」よりも高い割合となっています。

○知的障がい者においては、【地域支援センター「ぱれっと・よしおか」】【富谷市障がい者等相談支援窓口】【計画相談支援事業所】が身体障がい者、精神障がい者よりも「知っている」の割合が高くなっています。

○就労を支援する関係機関の利用状況・利用意向についてみると、身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者のいずれにおいても【障害者就業・生活支援センターわ〜く】【宮城障害者職業センター】【地域支援センター「ぱれっと・よしおか」】【富谷市障がい者等相談支援窓口】【計画相談支援事業所】【富谷市自立相談支援センター】で「利用していない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

○【公共職業安定所（ハローワーク）】では、身体障がい者では「利用していない」が35.6%と最も高く、次いで「利用中・利用したことがある」が31.2%、知的障がい者では「利用していない」が53.5%と最も高く、次いで「利用中・利用したことがある」が10.9%、精神障がい者では「利用中・利用したことがある」が44.8%と最も高く、次いで「利用していない」が28.8%となっています。

○【富谷市役所】では、身体障がい者では「利用中・利用したことがある」が33.2%と最も高く、次いで「利用していない」が32.2%、知的障がい者では「利用中・利用したことがある」が45.7%と最も高く、次いで「利用していない」が21.7%、精神障がい者では「利用中・利用したことがある」が45.6%と最も高く、次いで「利用していない」が21.6%となっています。

**■公共職業安定所（ハローワーク）**

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	162	79.0	87	67.4	100	80.0
	2 知らない	22	10.7	29	22.5	13	10.4
	不明・無回答	21	10.2	13	10.1	12	9.6

利用状況・ 利用意向	1 利用中・利用したことがある	64	31.2	14	10.9	56	44.8
	2 利用していない	73	35.6	69	53.5	36	28.8
	3 利用してみたい	7	3.4	10	7.8	7	5.6
	不明・無回答	61	29.8	36	27.9	26	20.8

## ■障害者就業・生活支援センターわ〜く

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	30	14.6	23	17.8	21	16.8
	2 知らない	148	72.2	90	69.8	92	73.6
	不明・無回答	27	13.2	16	12.4	12	9.6

利用状況・利用意向	1 利用中・利用したことがある	4	2.0	6	4.7	8	6.4
	2 利用していない	114	55.6	66	51.2	73	58.4
	3 利用してみたい	13	6.3	16	12.4	10	8.0
	不明・無回答	74	36.1	41	31.8	34	27.2

## ■宮城障害者職業センター

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	55	26.8	22	17.1	23	18.4
	2 知らない	122	59.5	87	67.4	89	71.2
	不明・無回答	28	13.7	20	15.5	13	10.4

利用状況・利用意向	1 利用中・利用したことがある	5	2.4	4	3.1	5	4.0
	2 利用していない	117	57.1	64	49.6	72	57.6
	3 利用してみたい	8	3.9	14	10.9	13	10.4
	不明・無回答	75	36.6	47	36.4	35	28.0

## ■地域支援センター「ばれっと・よしおか」

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	31	15.1	56	43.4	22	17.6
	2 知らない	151	73.7	58	45.0	94	75.2
	不明・無回答	23	11.2	15	11.6	9	7.2

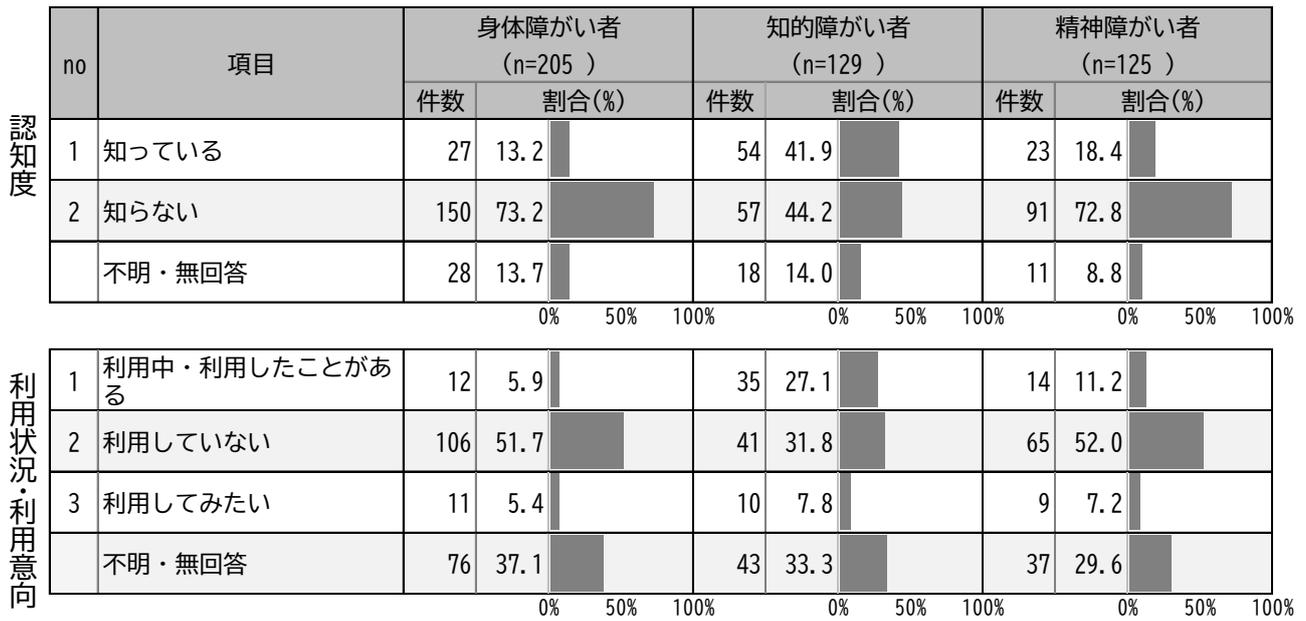
利用状況・利用意向	1 利用中・利用したことがある	7	3.4	15	11.6	8	6.4
	2 利用していない	116	56.6	60	46.5	70	56.0
	3 利用してみたい	10	4.9	12	9.3	10	8.0
	不明・無回答	72	35.1	42	32.6	37	29.6

## ■富谷市障がい者等相談支援窓口

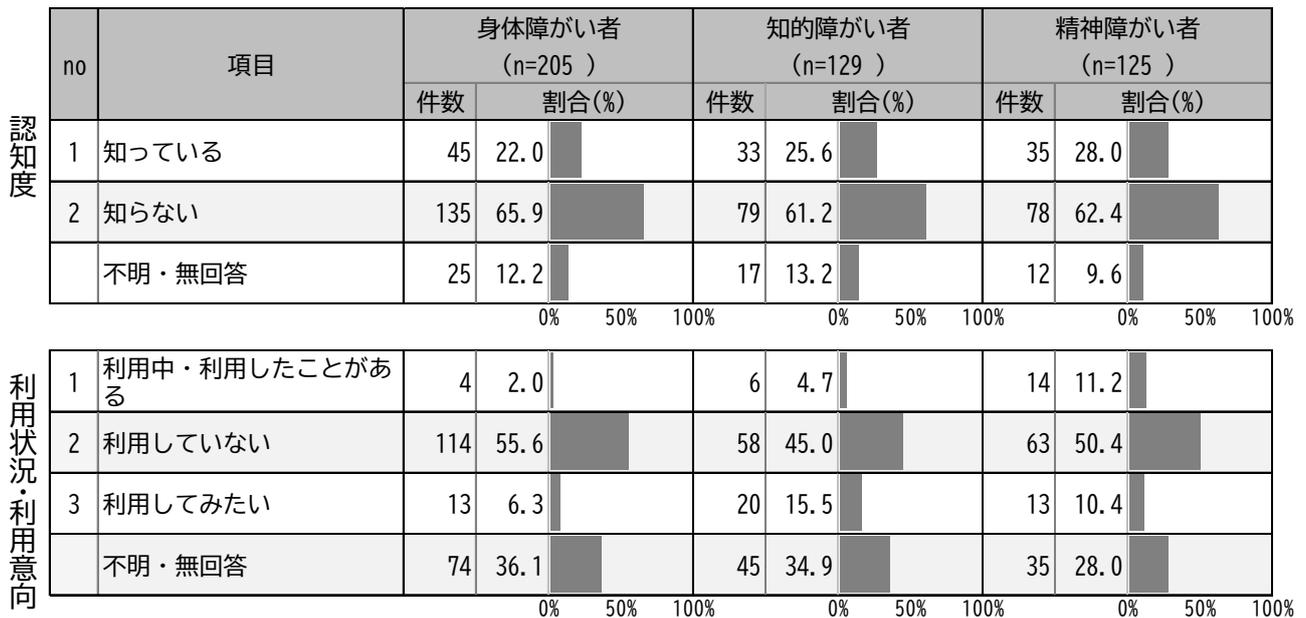
no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	61	29.8	50	38.8	29	23.2
	2 知らない	119	58.0	64	49.6	83	66.4
	不明・無回答	25	12.2	15	11.6	13	10.4

利用状況・利用意向	1 利用中・利用したことがある	11	5.4	12	9.3	9	7.2
	2 利用していない	105	51.2	56	43.4	70	56.0
	3 利用してみたい	15	7.3	19	14.7	12	9.6
	不明・無回答	74	36.1	42	32.6	34	27.2

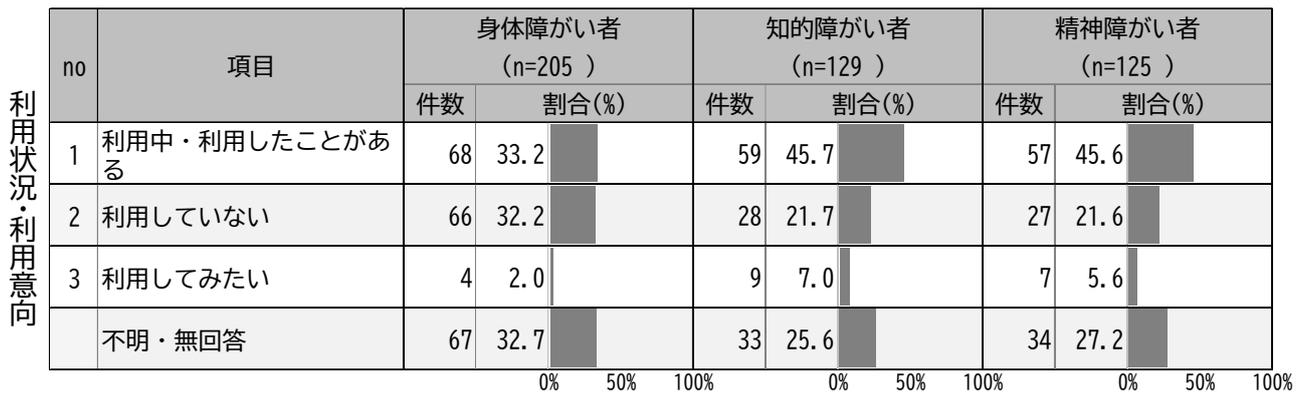
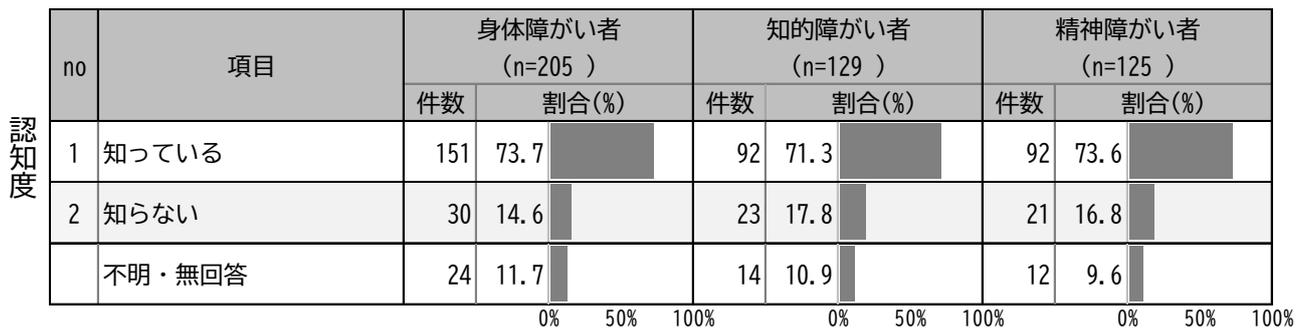
## ■計画相談支援事業所



## ■富谷市自立相談支援センター



■富谷市役所



ここからは18歳未満の方にお伺いします。(お子さんと相談しながらお書きください)

問 29 現在、通園・通学はしていますか。

(○は1つだけ。複数該当する場合は、一番頻度が高いものに○)

○調査対象者の通園・通学の状況をみると、身体障がい者では「小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部」が35.0%と最も高く、次いで「中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部」が30.0%となっています。

○知的障がい者では「小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部」が39.2%と最も高く、次いで「高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部」が23.5%となっています。

○精神障がい者では「小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部」が50.0%と最も高く、次いで「高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部」が33.3%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=20)		知的障がい者 (n=51)		精神障がい者 (n=6)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	幼稚園・保育園・認定こども園	3	15.0	4	7.8	0	0.0
2	障害児通所施設（児童発達支援）	1	5.0	4	7.8	0	0.0
3	小学校（普通学級・特別支援学級）・小学部	7	35.0	20	39.2	3	50.0
4	中学校（普通学級・特別支援学級）・中学部	6	30.0	8	15.7	0	0.0
5	高等学校（普通学級・特別支援学級）・高等部	3	15.0	12	23.5	2	33.3
6	各種専門学校・専修学校	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7	職業訓練校	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8	その他	0	0.0	1	2.0	0	0.0
9	就園・就学しないで、家にいる	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0	2	3.9	1	16.7

問 29 で「9」以外を選択した方にお伺いします。

問 30 就学している方へ、放課後はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

○放課後の過ごし方をみると、身体障がい者では「自宅・親族宅で過ごしている」が 45.0%と最も高く、次いで「放課後等デイサービスに通っている」が 40.0%となっています。

○知的障がい者では「放課後等デイサービスに通っている」が 57.1%と最も高く、次いで「自宅・親族宅で過ごしている」が 34.7%となっています。

○精神障がい者では「放課後等デイサービスに通っている」「自宅・親族宅で過ごしている」が 80.0%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=20)		知的障がい者 (n=49)		精神障がい者 (n=5)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	児童クラブに通っている	0	0.0	1	2.0	0	0.0
2	放課後等デイサービスに通っている	8	40.0	28	57.1	4	80.0
3	習い事に通っている	1	5.0	2	4.1	0	0.0
4	自宅・親族宅で過ごしている	9	45.0	17	34.7	4	80.0
5	その他	4	20.0	6	12.2	0	0.0
	不明・無回答	1	5.0	5	10.2	0	0.0

0% 50% 100%      0% 50% 100%      0% 50% 100%

**問 31 日中一時支援事業を知っていますか。また、利用してみたいと思いますか。**  
**(あてはまるものにそれぞれ1つずつ○)**

- 日中一時支援事業の認知度をみると、身体障がい者では「知らない」が 70.0%と最も高く、次いで「知っている」が 25.0%となっています。
- 知的障がい者では「知らない」が 54.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 25.5%となっています。
- 精神障がい者では「知らない」が 66.7%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 33.3%となっています。
- 日中一時支援事業の利用意向・利用状況をみると、身体障がい者では「わからない」が 35.0%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」「利用したくない」が 20.0%となっています。
- 知的障がい者では「今は必要ないが、将来利用してみたい」が 39.2%と最も高く、次いで「わからない」が 31.4%となっています。
- 精神障がい者では「今は必要ないが、将来利用してみたい」「わからない」が 33.3%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=20)		知的障がい者 (n=51)		精神障がい者 (n=6)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
認知度	1 知っている	5	25.0	9	17.6	0	0.0
	2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	1	5.0	13	25.5	2	33.3
	3 知らない	14	70.0	28	54.9	4	66.7
	不明・無回答	0	0.0	1	2.0	0	0.0

利用状況・ 利用意向	1 利用している	2	10.0	1	2.0	0	0.0
	2 すぐにでも利用したい	0	0.0	6	11.8	0	0.0
	3 今は必要ないが、将来利用してみたい	4	20.0	20	39.2	2	33.3
	4 利用したくない	4	20.0	4	7.8	0	0.0
	5 わからない	7	35.0	16	31.4	2	33.3
	不明・無回答	3	15.0	4	7.8	2	33.3

**問 32 困っていること、必要な支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)**

○困っていること、必要な支援をみると、身体障がい者では「将来の生活について」が 55.0%と最も高く、次いで「福祉サービスの利用について」が 30.0%となっています。

○知的障がい者では「将来の生活について」が 60.8%と最も高く、次いで「就労について」が 41.2%となっています。

○精神障がい者では「健康・医療について」「将来の生活について」「家族関係・人間関係について」「家計・経済について」「生活する上での情報入手について」「就労について」「金銭管理について」が 33.3%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=20)		知的障がい者 (n=51)		精神障がい者 (n=6)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	福祉サービスの利用について	6	30.0	15	29.4	0	0.0
2	障がいや症状について	4	20.0	16	31.4	1	16.7
3	健康・医療について	5	25.0	7	13.7	2	33.3
4	将来の生活について	11	55.0	31	60.8	2	33.3
5	保育・教育について	2	10.0	10	19.6	0	0.0
6	家族関係・人間関係について	0	0.0	9	17.6	2	33.3
7	家計・経済について	5	25.0	15	29.4	2	33.3
8	生活する上での情報入手について	2	10.0	17	33.3	2	33.3
9	就労について	5	25.0	21	41.2	2	33.3
10	社会参加・余暇活動について	5	25.0	12	23.5	1	16.7
11	金銭管理について	1	5.0	18	35.3	2	33.3
12	防災や防犯について	2	10.0	7	13.7	1	16.7
13	その他	1	5.0	1	2.0	0	0.0
14	特に困っていること、必要な支援はない	4	20.0	5	9.8	0	0.0
	不明・無回答	0	0.0	1	2.0	2	33.3

## 障がい者交通対策について

### 問 33 外出する際に利用する主な交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○外出する際に利用する主な交通手段をみると、身体障がい者では「自家用車(自分で運転する)」が55.1%と最も高く、次いで「家族による送迎」が46.8%となっています。

○知的障がい者では「家族による送迎」が65.1%と最も高く、次いで「施設送迎」が35.7%となっています。

○精神障がい者では「自家用車(自分で運転する)」が48.8%と最も高く、次いで「路線バス」「家族による送迎」がともに46.4%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自家用車(自分で運転する)	113	55.1	14	10.9	61	48.8
2	タクシー	38	18.5	7	5.4	15	12.0
3	路線バス	64	31.2	43	33.3	58	46.4
4	富谷市民バス	24	11.7	20	15.5	31	24.8
5	家族による送迎	96	46.8	84	65.1	58	46.4
6	隣近所の友人・知人による送迎	3	1.5	1	0.8	3	2.4
7	ボランティアによる送迎	3	1.5	0	0.0	0	0.0
8	介護タクシー	12	5.9	1	0.8	0	0.0
9	施設送迎	17	8.3	46	35.7	4	3.2
10	その他	8	3.9	4	3.1	16	12.8
	不明・無回答	7	3.4	4	3.1	3	2.4

**問 34 あなたは、タクシーチケット（重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業）について利用の申請をしましたか。また、実際に利用はしていますか。（○は1つだけ）**

○タクシーチケットの利用申請の状況を見ると、身体障がい者では「申請対象外である」が33.7%と最も高く、次いで「制度を知らなかった」が22.9%となっています。

○知的障がい者では「申請対象外である」が44.2%と最も高く、次いで「制度を知らなかった」が31.0%となっています。

○精神障がい者では「申請対象外である」が40.0%と最も高く、次いで「制度を知らなかった」が39.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	申請し、利用している	29	14.1	5	3.9	1	0.8
2	申請したが、まだ利用していない	8	3.9	1	0.8	0	0.0
3	申請をする予定である	7	3.4	0	0.0	1	0.8
4	申請するつもりはない	30	14.6	16	12.4	19	15.2
5	申請対象外である	69	33.7	57	44.2	50	40.0
6	制度を知らなかった	47	22.9	40	31.0	49	39.2
	不明・無回答	15	7.3	10	7.8	5	4.0

0% 30% 60%      0% 30% 60%      0% 30% 60%

## 福祉サービス等の利用について

### 問 35 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

○調査対象者の障害支援区分をみると、身体障がい者では「受けていない」が65.4%と最も高く、次いで「区分6」が4.4%となっています。

○知的障がい者では「受けていない」が48.8%と最も高く、次いで「区分2」が6.2%となっています。

○精神障がい者では「受けていない」が70.4%と最も高く、次いで「区分2」「区分3」がともに4.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	区分1	3	1.5	3	2.3	1	0.8
2	区分2	5	2.4	8	6.2	5	4.0
3	区分3	2	1.0	5	3.9	5	4.0
4	区分4	1	0.5	7	5.4	0	0.0
5	区分5	2	1.0	5	3.9	0	0.0
6	区分6	9	4.4	2	1.6	0	0.0
7	受けていない	134	65.4	63	48.8	88	70.4
	不明・無回答	49	23.9	36	27.9	26	20.8

0% 40% 80%      0% 40% 80%      0% 40% 80%

**問 36 ①現在利用しているサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)**

○調査対象者の利用しているサービスをみると、身体障がい者では「短期入所(ショートステイ)」が6.8%と最も高く、次いで「生活介護」が5.4%となっています。

○知的障がい者では「放課後等デイサービス」が24.8%と最も高く、次いで「短期入所(ショートステイ)」が17.8%となっています。

○精神障がい者では「就労継続支援(B型)」が6.4%と最も高く、次いで「就労継続支援(A型)」が4.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	居宅介護(ホームヘルプ)	7	3.4	5	3.9	2	1.6
2	重度訪問介護	3	1.5	1	0.8	0	0.0
3	重度障害者等包括支援	4	2.0	3	2.3	0	0.0
4	同行援護・行動援護	5	2.4	2	1.6	1	0.8
5	療養介護	1	0.5	0	0.0	0	0.0
6	生活介護	11	5.4	11	8.5	1	0.8
7	短期入所(ショートステイ)	14	6.8	23	17.8	3	2.4
8	施設入所支援	3	1.5	8	6.2	0	0.0
9	自立訓練(機能訓練・生活訓練)	5	2.4	0	0.0	2	1.6
10	就労移行支援・就労定着支援	1	0.5	2	1.6	4	3.2
11	就労継続支援(A型)	1	0.5	4	3.1	5	4.0
12	就労継続支援(B型)	6	2.9	22	17.1	8	6.4
13	共同生活援助・自立生活援助(グループホーム)	1	0.5	6	4.7	3	2.4
14	地域移行支援・地域定着支援	0	0.0	4	3.1	0	0.0
15	児童発達支援	2	1.0	9	7.0	0	0.0
16	放課後等デイサービス	6	2.9	32	24.8	4	3.2
17	保育所等訪問支援	2	1.0	10	7.8	0	0.0
18	居宅訪問型児童発達支援	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	不明・無回答	168	82.0	39	30.2	96	76.8

**問 36 ②今後3年以内のサービス利用について、お答えください。(あてはまるものすべてに○)**

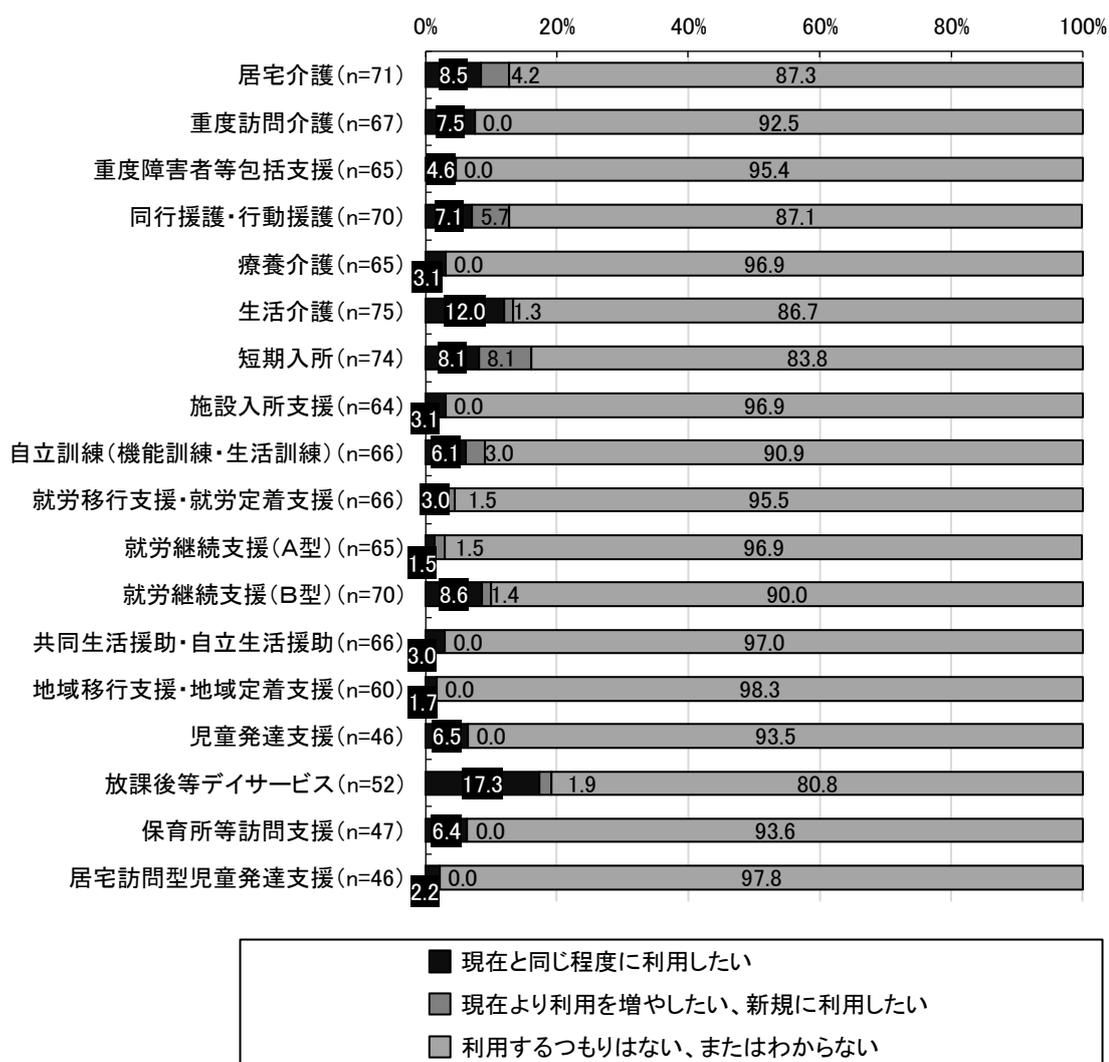
○今後3年以内のサービス利用意向をみると、身体障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」が【放課後等デイサービス】で17.3%、【生活介護】で12.0%となっており、他のサービスよりも高い割合になっています。【居宅介護】【同行援護・行動援護】【生活介護】【短期入所】【就労継続支援（B型）】【放課後等デイサービス】では『利用したい』（「現在と同じ程度に利用したい」と「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」の合計）が1割台となっています。

○知的障がい者では、「現在と同じ程度に利用したい」が【放課後等デイサービス】で48.0%、【就労継続支援（B型）】で36.4%、【短期入所】で33.3%と、他のサービスよりも高い割合となっています。また、【放課後等デイサービス】では「現在より利用を増やしたい、新規に利用したい」が14.0%となっています。

○精神障がい者では、いずれのサービスでも「現在と同じ程度に利用したい」の割合は1割未満となっています。【就労継続支援（B型）】では『利用したい』が23.5%、【就労継続支援（A型）】では14.1%、【共同生活援助・自立生活援助】では11.0%となっています。

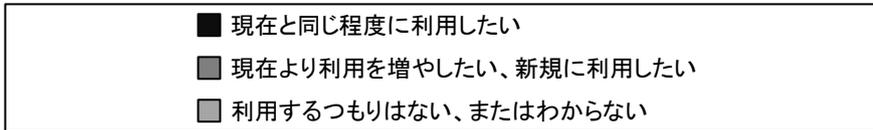
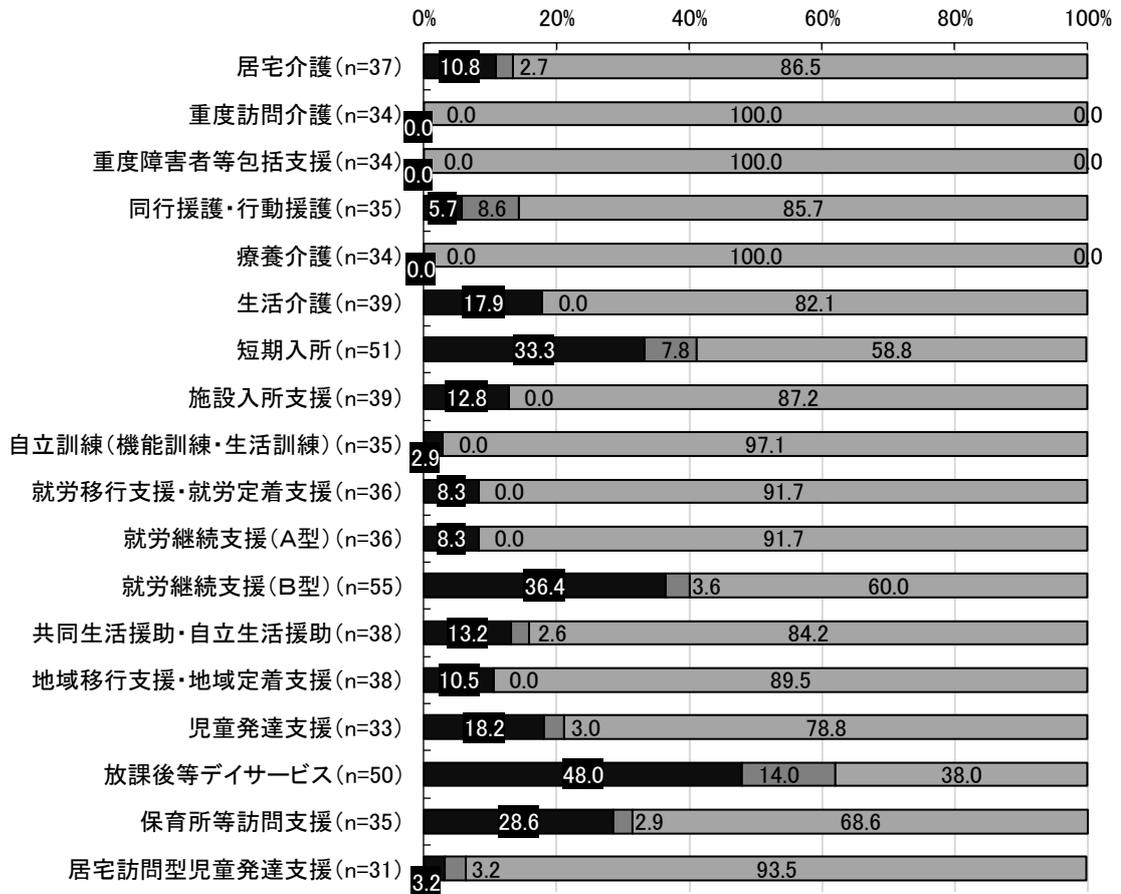
**■身体障がい者**

※不明・無回答を除いて集計



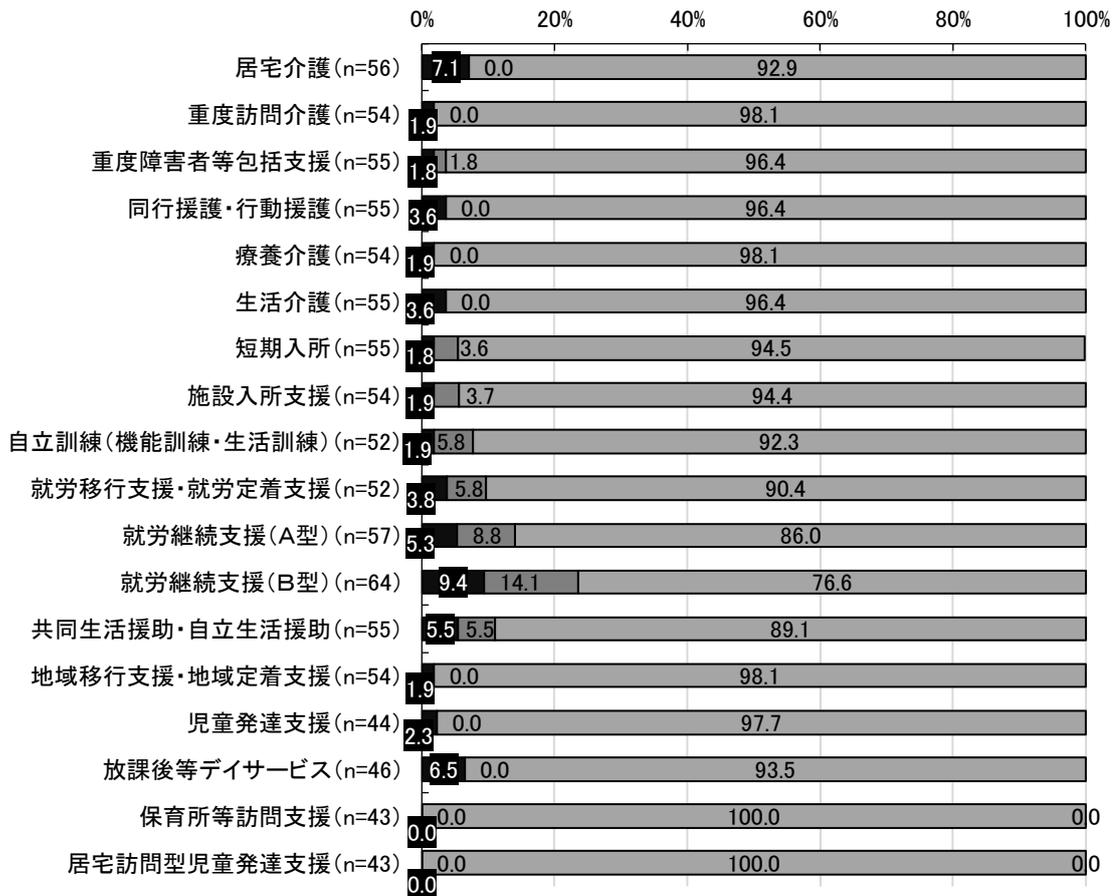
知的障がい者

※不明・無回答を除いて集計



■精神障がい者

※不明・無回答を除いて集計



■ 現在と同じ程度に利用したい  
 ■ 現在より利用を増やしたい、新規に利用したい  
 ■ 利用するつもりはない、またはわからない

## 権利擁護について

問 37 福祉サービスの利用手続きや生活費・財産管理のお手伝い等をする制度として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」があります。このような制度や事業を知っていますか。また利用してみたいと思いますか。(あてはまるものにそれぞれ1つずつ○)

- 地域福祉権利擁護事業の認知度をみると、身体障がい者では「知らない」が61.0%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が14.1%となっています。
- 知的障がい者では「知らない」が61.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が24.8%となっています。
- 精神障がい者では「知らない」が71.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が12.8%となっています。
- 地域福祉権利擁護事業の利用状況・利用意向をみると、身体障がい者では「わからない」が42.4%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が12.2%となっています。
- 知的障がい者では「わからない」が41.9%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が34.1%となっています。
- 精神障がい者では「わからない」が45.6%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が15.2%となっています。

### ■地域福祉権利擁護事業

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	20	9.8	9	7.0	6	4.8
2	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	29	14.1	32	24.8	16	12.8
3	知らない	125	61.0	79	61.2	89	71.2
	不明・無回答	31	15.1	9	7.0	14	11.2

1	利用している	0	0.0	1	0.8	1	0.8
2	すぐにでも利用したい	0	0.0	1	0.8	3	2.4
3	今は必要ないが、将来利用してみたい	25	12.2	44	34.1	19	15.2
4	利用したくない	24	11.7	4	3.1	11	8.8
5	わからない	87	42.4	54	41.9	57	45.6
	不明・無回答	69	33.7	25	19.4	34	27.2

○成年後見制度の認知度をみると、身体障がい者では「知らない」が36.6%と最も高く、次いで「知っている」が25.9%となっています。

○知的障がい者では「知らない」が41.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が27.9%となっています。

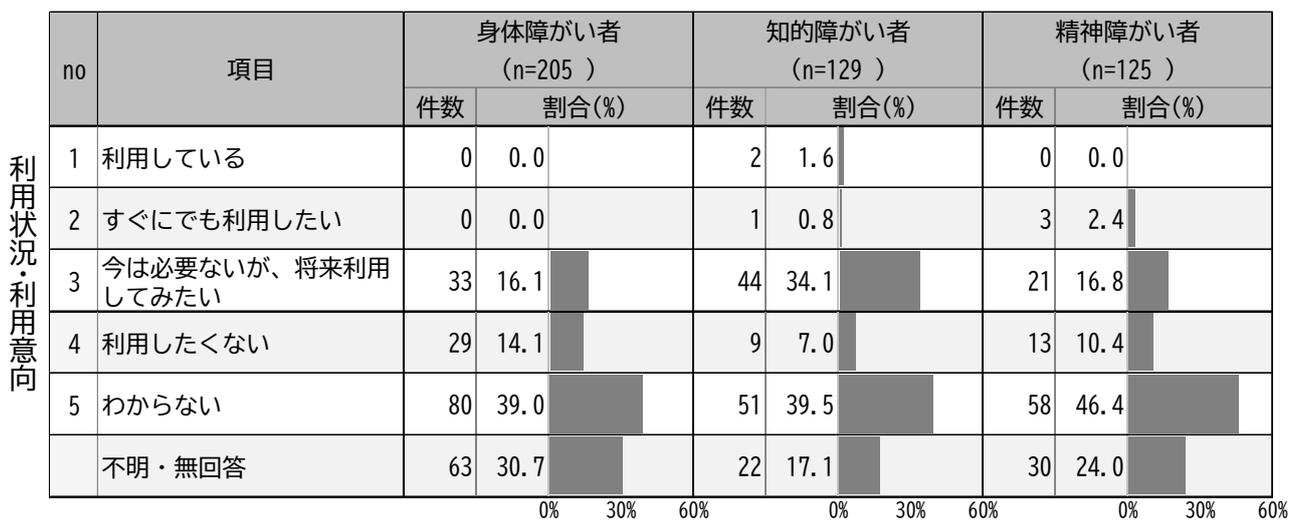
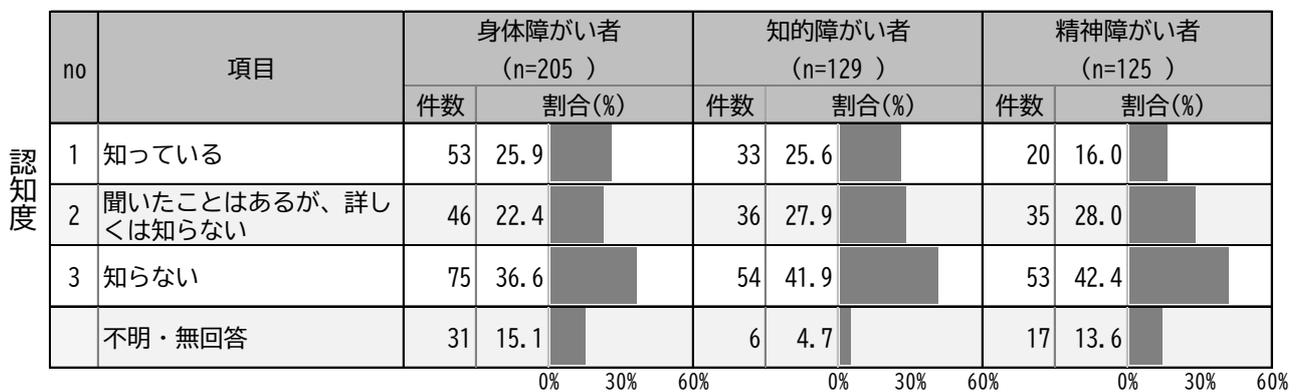
○精神障がい者では「知らない」が42.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が28.0%となっています。

○成年後見制度の利用状況・利用意向をみると、身体障がい者では「わからない」が39.0%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が16.1%となっています。

○知的障がい者では「わからない」が39.5%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が34.1%となっています。

○精神障がい者では「わからない」が46.4%と最も高く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」が16.8%となっています。

### ■成年後見制度



**問 38 障がい児・障がい者の虐待通報・相談窓口について知っていますか。(○は1つだけ)**

○障がい児・障がい者の虐待通報・相談窓口の認知度をみると、身体障がい者では「知らない」が50.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が24.4%となっています。

○知的障がい者では「知らない」が47.3%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が36.4%となっています。

○精神障がい者では「知らない」が55.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が26.4%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	30	14.6	15	11.6	16	12.8
2	知らない	103	50.2	61	47.3	69	55.2
3	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	50	24.4	47	36.4	33	26.4
	不明・無回答	22	10.7	6	4.7	7	5.6

**問 39 あなたは、障がいがあることで差別を受けたり、嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つだけ)**

○障がいを理由とするいやがらせの経験をみると、身体障がい者では「ない」が48.8%と最も高く、次いで「少しある」が23.9%となっています。

○知的障がい者では「少しある」が40.3%と最も高く、次いで「ない」が32.6%となっています。

○精神障がい者では「ない」が40.8%と最も高く、次いで「少しある」が28.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	ある	38	18.5	29	22.5	34	27.2
2	少しある	49	23.9	52	40.3	35	28.0
3	ない	100	48.8	42	32.6	51	40.8
	不明・無回答	18	8.8	6	4.7	5	4.0

問 39 で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。

問 40 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

○差別や嫌な思いをした場面をみると、身体障がい者では「学校・職場」が50.6%と最も高く、次いで「外出中」が48.3%となっています。

○知的障がい者では「学校・職場」が60.5%と最も高く、次いで「外出中」が34.6%となっています。

○精神障がい者では「学校・職場」が55.1%と最も高く、次いで「外出中」が33.3%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=87)		知的障がい者 (n=81)		精神障がい者 (n=69)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	学校・職場	44	50.6	49	60.5	38	55.1
2	仕事を探す時	19	21.8	7	8.6	20	29.0
3	外出中	42	48.3	28	34.6	23	33.3
4	余暇を楽しむ時	13	14.9	13	16.0	8	11.6
5	病院などの医療機関	11	12.6	8	9.9	12	17.4
6	住んでいる地域	9	10.3	10	12.3	14	20.3
7	その他	8	9.2	4	4.9	11	15.9
	不明・無回答	2	2.3	1	1.2	0	0.0

0% 40% 80%      0% 40% 80%      0% 40% 80%

#### 問 41 ヘルプマークを利用していますか。(○は1つだけ)

○ヘルプマークの利用状況をみると、身体障がい者では「知っているが、利用はしていない」が53.7%と最も高く、次いで「知らない」が28.3%となっています。

○知的障がい者では「知っているが、利用はしていない」が44.2%と最も高く、次いで「知らない」が42.6%となっています。

○精神障がい者では「知っているが、利用はしていない」が42.4%と最も高く、次いで「知らない」が40.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	利用している	21	10.2	10	7.8	17	13.6
2	知っているが、利用はしていない	110	53.7	57	44.2	53	42.4
3	知らない	58	28.3	55	42.6	51	40.8
	不明・無回答	16	7.8	7	5.4	4	3.2

#### 問 42 本市では2018年に「富谷市子どもにやさしいまちづくり宣言」をしています。子どもの権利条約について知っていますか。(○は1つだけ)

○子どもの権利条約の認知度をみると、身体障がい者では「知らない」が55.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が30.2%となっています。

○知的障がい者では「知らない」が61.2%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が27.1%となっています。

○精神障がい者では「知らない」が69.6%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容はよくわからない」が19.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	知っている	9	4.4	7	5.4	6	4.8
2	知らない	113	55.1	79	61.2	87	69.6
3	聞いたことがあるが、内容はよくわからない	62	30.2	35	27.1	24	19.2
	不明・無回答	21	10.2	8	6.2	8	6.4

## 災害時の避難等について

### 問 43 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

○災害時に一人で避難できるかをみると、身体障がい者では「できる」が 49.8%と最も高く、次いで「できない」が 22.9%となっています。

○知的障がい者では「できない」が 48.8%と最も高く、次いで「わからない」が 25.6%となっています。

○精神障がい者では「できる」が 53.6%と最も高く、次いで「わからない」が 32.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	できる	102	49.8	28	21.7	67	53.6
2	できない	47	22.9	63	48.8	12	9.6
3	わからない	45	22.0	33	25.6	41	32.8
	不明・無回答	11	5.4	5	3.9	5	4.0

### 問 44 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

○近所にあなたを助けてくれる人がいるかをみると、身体障がい者では「いない」が 36.6%と最も高く、次いで「わからない」が 32.2%となっています。

○知的障がい者では「いない」が 35.7%と最も高く、次いで「わからない」が 30.2%となっています。

○精神障がい者では「いない」が 55.2%と最も高く、次いで「わからない」が 28.0%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	いる	49	23.9	34	26.4	17	13.6
2	いない	75	36.6	46	35.7	69	55.2
3	わからない	66	32.2	39	30.2	35	28.0
	不明・無回答	15	7.3	10	7.8	4	3.2

**問 45 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

○災害時に困ることについてみると、身体障がい者では「投薬や治療が受けられない」が40.5%と最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が38.0%となっています。

○知的障がい者では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が41.1%と最も高く、次いで「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が38.0%となっています。

○精神障がい者では「投薬や治療が受けられない」が55.2%と最も高く、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が32.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	投薬や治療が受けられない	83	40.5	34	26.4	69	55.2
2	補装具の使用が困難になる	21	10.2	2	1.6	4	3.2
3	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	23	11.2	9	7.0	8	6.4
4	救助を求めることができない	20	9.8	34	26.4	14	11.2
5	安全なところまで、迅速に避難することができない	61	29.8	53	41.1	22	17.6
6	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	21	10.2	38	29.5	16	12.8
7	周囲とコミュニケーションがとれない	26	12.7	47	36.4	41	32.8
8	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	78	38.0	49	38.0	38	30.4
9	避難所では生活ができない	43	21.0	45	34.9	31	24.8
10	その他	4	2.0	3	2.3	7	5.6
11	特になし	37	18.0	17	13.2	18	14.4
	不明・無回答	17	8.3	8	6.2	8	6.4

問 45 で「9」を選択した方にお伺いします。

問 46 避難所では生活できない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

○避難所では生活できない理由をみると、身体障がい者では「トイレが使いにくいから」「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」が53.5%とそれぞれ最も高くなっています。

○知的障がい者では「人に迷惑をかけてしまうことが心配だから」が66.7%と最も高く、次いで「避難所には障がい者に理解している支援者がいないから」が48.9%となっています。

○精神障がい者では「間仕切りや個室の部屋がないから」が58.1%と最も高く、次いで「障がいに対する周囲の理解がないから」が54.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=43)		知的障がい者 (n=45)		精神障がい者 (n=31)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	自宅のベッドから動けないから	3	7.0	1	2.2	1	3.2
2	生命維持のための医療機器が必要だから	3	7.0	0	0.0	2	6.5
3	間仕切りや個室の部屋がないから	17	39.5	18	40.0	18	58.1
4	トイレが使いにくいから	23	53.5	9	20.0	6	19.4
5	避難所がバリアフリーになっていないから	14	32.6	2	4.4	2	6.5
6	障がいに対する周囲の理解がないから	8	18.6	18	40.0	17	54.8
7	避難所には障がい者に理解している支援者がいないから	11	25.6	22	48.9	11	35.5
8	人に迷惑をかけてしまうことが心配だから	23	53.5	30	66.7	14	45.2
9	その他	11	25.6	4	8.9	8	25.8
	不明・無回答	1	2.3	0	0.0	0	0.0

**問 47 災害に対して、どのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)**

○災害に対する準備状況をみると、身体障がい者では「避難場所を知っている」が31.2%と最も高く、次いで「特にしていない」が30.7%となっています。

○知的障がい者では「特にしていない」が36.4%と最も高く、次いで「避難場所を知っている」が31.8%となっています。

○精神障がい者では「特にしていない」が38.4%と最も高く、次いで「避難場所を知っている」が31.2%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	非常用持出用品や備蓄品に、障がいの特性にあった医薬品や食料等を用意している	44	21.5	30	23.3	26	20.8
2	医薬品や病状などの情報を用意している	43	21.0	10	7.8	24	19.2
3	家族や知人等の緊急連絡先を用意している	61	29.8	33	25.6	36	28.8
4	緊急時には、家族や友人等に支援を依頼している	34	16.6	23	17.8	15	12.0
5	避難場所を知っている	64	31.2	41	31.8	39	31.2
6	避難行動要支援者名簿に登録をしている	13	6.3	8	6.2	2	1.6
7	市や地域の避難訓練に参加している	12	5.9	4	3.1	3	2.4
8	その他	4	2.0	2	1.6	4	3.2
9	特にしていない	63	30.7	47	36.4	48	38.4
	不明・無回答	19	9.3	7	5.4	6	4.8

## 暮らしやすくなるために

問 48 富谷市内に「インクルーシブ遊具」がある公園か施設があれば行きたいと思いませんか。  
(○は1つだけ)

○インクルーシブ遊具がある公園があった場合に行きたいかをみると、身体障がい者では「わからない」が50.7%と最も高く、次いで「思う」が22.0%となっています。

○知的障がい者では「わからない」が51.9%と最も高く、次いで「思う」が30.2%となっています。

○精神障がい者では「思わない」「わからない」が38.4%とそれぞれ最も高くなっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	思う	45	22.0	39	30.2	18	14.4
2	思わない	38	18.5	17	13.2	48	38.4
3	わからない	104	50.7	67	51.9	48	38.4
	不明・無回答	18	8.8	6	4.7	11	8.8

0% 30% 60%      0% 30% 60%      0% 30% 60%

**問 49 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。**  
**(あてはまるものすべてに○)**

○暮らしやすくなるために行ってほしい取り組みをみると、身体障がい者では「外出しやすい環境や交通機関の利便性の向上」が 44.4%と最も高く、次いで「年金などの経済的援助」が 42.0%となっています。

○知的障がい者では「障がい者に対する理解促進」が 52.7%と最も高く、次いで「障がい者が働ける企業の増加」「年金などの経済的援助」がともに 51.9%となっています。

○精神障がい者では「年金などの経済的援助」が 64.0%と最も高く、次いで「障がい者に対する理解促進」が 48.8%となっています。

no	項目	身体障がい者 (n=205)		知的障がい者 (n=129)		精神障がい者 (n=125)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1	毎日の生活の手助け	24	11.7	26	20.2	20	16.0
2	外出しやすい環境や交通機関の利便性の向上	91	44.4	57	44.2	58	46.4
3	外出の支援	33	16.1	33	25.6	21	16.8
4	相談窓口の用意	31	15.1	31	24.0	36	28.8
5	障がい者に対する理解促進	67	32.7	68	52.7	61	48.8
6	何でも話し合える相談相手や仲間	36	17.6	50	38.8	49	39.2
7	障がい者が働ける企業の増加	76	37.1	67	51.9	52	41.6
8	年金などの経済的援助	86	42.0	67	51.9	80	64.0
9	就労支援施設などの増加	34	16.6	63	48.8	36	28.8
10	スポーツ・文化活動等に対する援助	28	13.7	27	20.9	12	9.6
11	リハビリ訓練の場所の増加	37	18.0	10	7.8	8	6.4
12	福祉サービス制度のわかりやすい紹介	65	31.7	57	44.2	53	42.4
13	障がいに適した住宅の整備	42	20.5	28	21.7	24	19.2
	不明・無回答	23	11.2	12	9.3	11	8.8

富谷市第2期障がい者計画・第7期障がい福祉計画・  
第3期障がい児福祉計画策定に向けた  
実態把握調査結果報告書  
令和5年3月

発行 / 富谷市  
編集 / 富谷市 保健福祉部 地域福祉課  
〒981-3392 富谷市富谷坂松田 30 番地  
電話：022-358-3294 F A X: 022-358-9915